

～夢の祭典まであと半年！～ 東京2020大会に向けた公認活動 合同清掃活動を実施！



東京2020オリンピックのオフィシャルブロードキャスターであるフジテレビは、オリンピック開幕半年前となる1月24日、競技会場が多く集まる臨海副都心エリアの合同清掃活動を行いました。

この活動はクリーンで快適な街づくりを目指して開催しているもので、今回、東京2020の参画プログラムとして正式に認証されました。

気温11℃とこの時期としては暖かい陽気の中、フジテレビをはじめフジ・メディア・ホールディングス各社の有志、アナウンサー、東京臨海副都心まちづくり協議会、その他環境活動を行うNPO団体等から計108人がお台場に集結。スタートの合図とともに、一斉に四方八方に散らばり、清掃活動を行いました。



海辺での活動では、先日運ばれてきたばかりの五輪マークが目に入り、いやおうなしに五輪気分が高まります。また駅に通じる道の脇にある植え込みの中を覗くと、ペットボトルや空き缶がザクザクと出てきます。皆で手分けして、色々な場所からかき集めたゴミの量は、70リットルのゴミ袋27個分。これまでで最大規模となりました。オリンピック・パラリンピックを控え、お台場エリアを訪れる人は、ますます増加します。この夏開催される“夢の祭典”に向け、世界中から訪れるお客様に快適に過ごしていただけるよう、これからも合同清掃活動を継続して参ります。